



第8回ミツバチシンポジウム

福岡大学中央図書館1階多目的ホール
(会場地図は次ページをご覧ください)
福岡市城南区七隈8-19-1,
2019年2月21日(木), 11:00~18:00

プログラム:

- 11:00~11:30: ミツバチの雌で生じる脳内ドーパミン系のカーブ差とその意味
佐々木謙¹, 宇賀神篤², 原野健一³
(¹玉川大・農, ²JT生命誌研究館, ³玉川大・ミツバチ科学研)
- 11:30~11:45: ミツバチ雄における幼若ホルモン類似物質によるドーパミン合成酵素遺伝子発現量の選択的増加
渡邊智大¹, 松島啓将¹, 佐々木謙²(¹玉川大院・農, ²玉川大・農)
- 11:45~13:00: 昼食
- 13:00~13:30: ミツバチなどのハナバチ類を利用した作物受粉の現状と課題
光畑雅宏(アリスタライフサイエンス(株))
- 13:30~13:45: RFIDを用いた個性の異なる採餌蜂の尻振りダンス発現までの行動比較
目崇志, 小林裕貴, 藍浩之(福岡大・地球圏科学)
- 13:45~14:00: 尻振りダンスの追従パターンの解析
楠目晃大, 大塚彩世, 藍浩之(福岡大・地球圏科学)
- 14:00~14:15: 福岡大学周辺のミツバチ採餌分布の多角的比較
田中聡至, 押川梨沙, 藍浩之(福岡大・地球圏科学)
- 14:15~14:30: DNAバーコーディングを用いた福岡大学周辺のミツバチの採餌植物種の季節比較と年比較
牛島実佑, 井上晃輔, 藍浩之(福岡大・地球圏科学)
- 14:30~15:00: 休憩
- 15:00~15:30: ミツバチ脳内における感覚信号の時間構造を処理する抑制性神経回路
藍浩之¹, Ajayrama Kumaraswamy², 小橋常彦³, Thomas Wachtler², 池野英利⁴
(¹福岡大, ²Univ. Munich, Germany, ³名古屋大, ⁴兵庫県立大)
- 15:30~15:45: 振動刺激受容に関するミツバチ脳領域モデルの構築
上之原有香, 池野英利(兵庫県立大・環境人間)
- 15:45~16:00: ミツバチは刺激の時間特性の違いを識別できるか?
: 液晶モニターを利用した視覚刺激提示装置と実験プロトコル
坂本祐輔, 池野英利(兵庫県立大・環境人間)
- 16:00~16:30: 逆再生ビデオを用いた行動追跡システムの精度向上の試み
木村敏文¹, 大橋瑞江¹, 岡田龍一², 磯川悌次郎³, 池野英利¹
(¹兵庫県立大・環境人間, ²神戸大・理, ³兵庫県立大・工)
- 16:30~17:00: ミツバチライフログシステムの開発
高橋伸弥, 橋本浩二, 前田佐嘉志, 鶴田直之(福岡大・工)
- 17:00~: 総合討論

主催: 福岡大学研究推進部・総合科学研究チーム「ミツバチ採餌活動による環境観測」
連絡先: 藍浩之(電子メール ai@fukuoka-u.ac.jp、または電話 092-871-6631, 内線6275)

福岡大学内の正門から会場までの経路



福岡大学までのアクセスは、下記ウェブをご覧ください。
<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>